

科目名	小児看護Ⅱ (小児疾患)				DP1、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 母子看護	時間数	11時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	小児特有の疾患である先天性疾患、新生児の疾患、感染症、脳・神経・筋の疾患、精神疾患について、その発生メカニズム、診断基準、治療の概要を学び異常時の観察と診療の補助について学ぶ。						
到達 目標	1. 小児期に特徴的な疾患の病態・症状・診断・治療および診療の補助を理解することができる。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～3	主な小児疾患		小児疾患の特徴、先天性疾患、新生児の疾患、成長発達障害、小児の呼吸器系の疾患			講義	外部講師
			小児の循環器系の疾患、小児の消化器系の疾患、小児の血液・造血管系の疾患(血友病)			講義	
			小児の免疫・アレルギー疾患、膠原病			講義	
4～5			小児の内分泌系疾患、小児の代謝疾患、小児の腎・尿路・生殖器系の疾患			講義	外部講師
			小児の感染症			講義	
6	試験		(1時間)			試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 14 母子看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							